

大学職員のための高等教育情勢（基礎）

開催趣旨

令和5年の出生数は約75万8千人。衝撃のニュースが本年2月に厚生労働省から発表されました。我々、大学業界の人間にとって、出生数はそのまま18年後の大学入学者の母数となることから、その動向には敏感にならざるを得ません。国立社会保障・人口問題研究所が昨年4月に公表した将来推計人口（出生中位・死亡中位予測）によると、令和5年出生者が大学受験を迎える2041年の18歳人口は、「国際人口移動」すなわち移民や外国人居留者を含めた上で約79万4千人となっています。これは現在（約109.1万人）の72.8%の水準となり、国内の18歳人口を主なターゲットとして学生募集を続ける限りにおいては、多くの大学にとって絶望的な数であると言えるでしょう。

昨今、これに代わるものとして、社会人学生や留学生の受け入れなど唱えられており、国もその方向に政策誘導を進めています。しかし、果たしてこれらが従来の学生層を代替するものになり得るのか？留学生の確保は容易なのか？といった根源的な問題があります。

他にも、高等教育をめぐる情勢は、混沌としたものがあります。DXの進展、大きな潮流としてのグローバル化の動き、学習指導要領の改訂など、大学に直接的に関係する要素だけでも数多くの変化が生じています。その中でも生成系AIの台頭と浸透は、大学教育の在り方、学生支援サービス、私たちの働き方などに多様に作用し、大きく変わらざるを得ない兆候を示しています。このような環境の変化は、これから先の未来を予測することをいっそう困難にさせ、また、大学に求められる社会的使命や役割も多様化するようになりました。

こうした状況を踏まえ、昨年9月、盛山文部科学大臣は中央教育審議会に対し、新たに「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」を諮問しました。これを受けて、大学分科会の下に「高等教育の在り方に関する特別部会」が新設され、2040年以降の高等教育の在り方や地域別、国公立の設置者別の規模政策の在り方などが検討されています。

このように、文教政策は「大学のあり方」そのものを問う動きを見せています。振り返るに、昨年4月の大学設置基準改正は、従来にはない広範なものとなり、各大学はその対応に迫られました。今、高等教育をめぐる情勢に何が起きているのか？どうしてそうなったのか？過去はどうであったのか？こうしたことを正しく理解することで、未来が見えてくる、あるいはヒントを見出すことができるのではないのでしょうか？

本講義では、こうした高等教育をめぐる情勢や文教政策の変化を読み解き、明日を見出し未来を創造していく場にしたいと考えています。本講義を受講いただいた皆さまが、所属大学に戻られた後に、大学改革の担い手としてご活躍いただく、その一助となれば幸いです。

【注意事項】

本講義は、原則として2023年度開講時と同様の研修内容となっています。

対象の目安

全教職員（勤続年数にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。）

開催日時

2024年7月3日（水） 13:00～16:30

会場

キャンパスプラザ京都 またはオンライン（傍聴のみ）

募集定員

会場参加：30名

オンライン参加（傍聴のみ）：50名

※オンライン参加者はグループワークを行いません。あらかじめご了承ください。

※ 大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学優先および先着順

※ 定員を超過したときは、参加をお断りする場合がございます。

※ 申込人数が定員を大きく下回るときは、開講しない場合がございますのでご了承ください。

参加費用・振込期限

加盟大学・短期大学 1,000円

非加盟大学・短期大学 4,000円

※ 請求書をお送りいたします。指定の口座にお振込みください。

【振込期限】 2024年6月28日（金）

※ 期日までにお振込みいただけない場合は、事前にご連絡ください。

申込方法・申込期間

【申込方法】

WEB ページよりお申込みください。

<https://www.consortium.or.jp/project/sd/joint-p>

【申込期間】

2024年5月16日（木）10:00～6月19日（水）17:00

研修プログラム

1. アイスブレイク（グループワーク）：10分

- 自己紹介
- これから先の未来はバラ色？ いばらの道？
- あなたは（自）大学をどう改革したい？どうすべきか？どうなるべきか？

2. 文教政策の流れを知る（講義）：25分

- 地方創生、高等教育無償化、大学設置基準の改正、ガバナンス改革・・・
- 過去はどうだったのか？～「四六答申」以降の大きな流れを理解する
- 「高等教育計画の策定と各種規制の時代」から「将来像の提示と政策誘導」へ、そして今

3. 大学改革に必要な要素は何か（講義）：10分

- 内部環境の可能性・外部環境への適応

- 将来の見通し・文教政策の把握

4. 環境変化と学生募集のあり方（講義&グループワーク）：35分

- 大学の置かれた状況は個々に違う
- 「ランチェスターの法則」から捉えた学生募集戦略
- 何を重視し、何を捨て、何に注力するか？

5. これから先の未来を俯瞰する（講義）：20分

- 絶望的未来か？危機はチャンスか？
- 2040年の高等教育規模が意味するもの

6. 中長期計画は大学改革の処方箋（講義）：10分

- 中長期計画をどう実質化し、大学構成員の「エンゲージメント」を確立するか？

7. 君たちはどう生きるか？（グループワーク&発表&講評）：50分

- どのように所属大学の「舵」を取る？ そのために必要なことは何？

8. 終わりに（まとめに代えて）：10分

- 予測困難な時代を生きる
- 大学職員としての矜持

講師

岡田 雄介（おかだ ゆうすけ）氏

所属：龍谷大学 入試部・高大連携推進室 事務部長

経歴：1995年4月、龍谷大学に入職。文学部教務課、システム課、学長室を経て、2020年度から現職。この間、2004～2019年度までの16年間、学長室において経営企画、中長期計画、設置認可申請、IRなどの業務に携わる。